

クラウド
ファンディング
挑戦中!!



保冷車を大きくして 自慢のクラフトビールを全国に届けたい!

移転改築予定地の旧勝谷幼稚園



CAMPFIRE 実施期間
2/27(土) 23:59まで

目標金額 200万円

大型保冷車の購入、 醸造所の移転を行います!

株式会社 AKARI BREWING では、鳥取市鹿野町でクラフトビールの醸造、鳥取市の中心市街地でビアpubを運営しています。この度、美味しいクラフトビールを遠方の方のみなさんの元へ届けるために、ビール運搬用の大きな保冷車を導入したいと考えています。



どうぞご支援をお願いいたします!



【インターネットからのアクセス】

左のQRコードからアクセス、
もしくは「Camp-Fire AKARIBREWING」で検索し、
「アカウント登録」を済ませてから手続きをお願いします。

【手渡しの支援も大変嬉しいです!よろしくお願ひします!】

AKARI BREWING 醸造所(鳥取市鹿野町今市78)
beer bonds AKARI(鳥取市栄町759)

【ご支援方法】

クレジットカード
(VISA/Master/American Express/Diners)・銀行振込



Instagram



Facebook

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください



鳥取市鹿野町でクラフトビールを作っています！



こんにちは！アカリブリューイング醸造長の清部直樹です！

私たちの地域のご紹介

私たちは鳥取県鳥取市鹿野町という江戸時代に城下町として栄えた歴史ある小さな町の小さなクラフトビール醸造会社です。

2018年の事業開始以来、鳥取の様々な素材を副原料に用いたビールを製造してきました。アカリブリューイングは元々、「町にあかりを灯そう！」をスローガンに地元で活動していたまちおこし団体「あかり本願衆」を土台に作られた会社で、設立準備から今日まで、本当に多くの方々の想いに支えられてきました。飲食店だった空き家を自分たちの手で改装して小さな醸造所を構え、そこから作ってきたビールは40種類を超えています。

私たちのクラフトビール

私たちのビールの特徴は、桃やベリー、ハッサク、カボスなど、鳥取で生まれた様々な素材を副原料として使っていることです。それぞれが持つ風味を十分に感じられるビールに仕上がるよう、日々試行錯誤を続けています。鳥取大学農学部とも共同研究を行い、地元のソメイヨシノから採取した酵母を使った、爽やかな酸味が感じられるサワーエールも開発しました。

これまでの歩み

「鳥取の良さを感じられるビールを作りたい」そう思ったきっかけは、数年前に遡ります。実は私は鳥取ではなく岐阜の出身で、大学を出てから外資系のアパレルメーカーで働いていました。全国転勤で鳥取の店舗を任されたのが2014年。仕事自体にやりがいはあったものの、鳥取という土地には楽しさを見つけられず、毎年本社に異動希望を伝えていたくらいでした。しかし、鳥取で暮らす中で何度も遭遇する違和感がありました。それは「もったいない」です。例えば「和牛」。国内の様々なブランド牛も、その祖先の多くは実は鳥取の「気高号」という種牛なのですが、全国的にはほとんど知られていません。歴史あるもの、美味しいもの、素敵な場所。鳥取には数え切れないほど良いものがあるのに、鳥取の人はそれをちゃんとアピールできていない。新鮮な果物も野菜も、わずかな差で規格外になって捨てられていたり、投げ売り同然になっていたりして、農家さんや農協の方が辛い思いをされていることも知りました。一方で働いていたアパレル業界では、大量生産と大量消費が大前提の構造で「このままでいいんだろうか…」という思いが募っていました。そんなタイミングで、私はアカリブリューイングに出会いました。元々ビールは好きでしたが、自分で作るうとは考えたこともありませんでした。それでも、熱い想いを持った鹿野町の仲間たちに支えられながら、無我夢中で醸造、イベント出店、営業をやってきました。最近では鳥取城北高校さんとコラボして、ラベルのパッケージデザインを作ってもらったりもしています。私たちに関わることで、少しでも高校生の彼らが仕事や経済、地域について感じ、学んでもらえたら嬉しいです。この3年で、多くの方々との出会いがありました。県内の流通しない素材を買い取って、農家さんたちに1円でも多くお渡ししたい。ビール造りを通じて、町を経済的にも雰囲気的にも盛り上げたい。「鳥取の”もったいない”を副原料にした美味しいビールを作って、世界の人々に届ける」それが私の大切な目標になりました。

醸造所の移転

醸造開始から3年が経ち、お陰様で徐々に仕入れてくださる飲食店や販売店も増えてきたのですが、一方で今の設備では生産量が追いつかなくなってきました。そこで、醸造所を移転し、より多くの方々に私たちのビールを楽しんでいただけるよう準備を進めてきました。移転先の候補は、地元の方々の思い出がいっぱい詰まっている幼稚園だった建物です。少子化の影響で2005年に幼稚園が統廃合されて以来、長年使われていなかった園舎は、私にとっては他の素材と同じく「もったいない」ものでした。仲間たちと知恵を絞って計画を練った結果、鳥取市の遊休施設活用のプレゼンコンペを無事勝ち抜くことができました。

ビールを通じてコミュニケーション

私たちは、知られていない鳥取の良さをビールを通じてお伝えするメッセンジャーです。ただ買って飲んでもらうだけの関係ではなく、直接お会いして、お話して、私たちのビールの魅力をちゃんと伝えていきたいと思っています。今までも数多くのビアフェスなどのイベントに出店させていただき、一番美味しい状態の樽から出したビールを片手に、たくさんの方々とお話しさせていただきました。特に若い世代の方からは、ビールのイメージが変わったという声も多くいただきました。

大きな保冷車でビールを届けたい

そんな中で、ありがたいことに大阪や東京、福岡といった遠方のイベント主催者の方々から出店オファーをいただくことが増えました。しかし、今持っている保冷車では十分な量を積んで持っていくことができないため、コストと比較してオファーをお断りしてきました。そこで今回、このクラウドファンディングでみなさまからの支援をいただき、今の4倍の量を積むことができる大型の保冷車を導入したいと考えています。新型コロナの影響でイベント自粛など大変な時期が続きますが、人と人が直接会ってやり取りをすることの価値は変わらないと思います。

アカリブリューイングのこれから

私たちはこれからもビール造りを通じて、鳥取の美味しいものと世界を繋げていく仕事をしていきます。今回の保冷車の導入によって、より多くの方々に私たちのビールをお届けし、鳥取を盛り上げていきたいと思っています。

みなさまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします！

再び感染者数が伸び始めた今、すぐには難しいかもしれませんが、この新しい保冷車を使って全国各地のイベントに出店し、なるべく多くの方に直接鳥取の良さを伝える機会を作りたいと思っています。



あかり本願衆



鹿野の桜酵母を使用したサワーエール



前職時代



2005年に閉園した勝谷保育園



初県外イベント「ふるさと祭り東京」。鳥取の良さを伝える楽しさとプレッシャーを知りました。

